

さくらさくら

令和 5 年 12 月吉日発行

第 29 号

社会福祉法人桜友会

児童心理療育施設 桜学館

〒501-3932 岐阜県関市稲口 777 番地 1

Tel 0575-24-0050 Fax 0575-24-0051

ごあいさつ



桜学館施設長 児玉 俊郎

秋の気配がないままに冬になってしまったようです。それでも子どもたちはグラウンドで野球やサッカーをしながら走り回っています。施設長さんもと誘われるのですがこの年齢（66 歳）なかなか一緒にやれないことが悔しいです。ただただ大きな声を出しているだけです。

今年の桜学館の大きな取り組みは、中学生男子が修繕係を担ってくれて靴箱の修理を行ってくれたり、施設を飛び出して山登りに挑戦したり、サイコロ旅行を計画したりとようやく活動的に動き回ることができております。特に大学のイベントに参加し、焼きそばを 250 食焼いて完売したり、手作り作品を販売したりと地域との交流も行える状況になりました。他にも、溪流での遊びや農業体験を行いました。

やはり子どもたちには、様々な体験をする機会を設けることが大切だと改めて実感させられました。職員は大変な思いをしているとは思いますが、自分を見つめる機会にもなっています。

分級の大きな行事である秋の文化祭が関市文化会館のホールで盛大に行われました。子どもたちは、日ごろの練習成果をみせてくれました。伝統の中学生による和太鼓も全員で一つになりなかなかの迫力がありました。子どもたちの持っている力を改めて確認することができてとてもうれしい気持ちになりました。

運営的には職員不足が大きな課題です。本当にギリギリのところ現場を回しております。桜学館の職員は子どもたちのことを最優先に考えてくれて、必死に悩みながら自分と戦っております。そんな職員に伝えられるように行政や教育・医療機関にお力を貸していただくようお願いしている状況です。

お知り合いで、桜学館で働いてみたい方がいらしたら、ぜひ声をかけていただきたいと思います。ボランティアや非常勤の方も大歓迎ですのでよろしくお願いいたします。

笑顔が一番！

笑顔が生まれる安心を！



<これからの課題>

※子どもたちの笑顔を見るために、大人のネットワークづくり。（福祉と教育と医療）

※子どもたちに寄り添えるための力を職員とともに学び続けます。（アセスメント力）

※子どもたちに関わっていただける仲間を募集しております。（文化活動・学習支援など）

1. 子ども一人ひとりにしっかりと向き合い、ひとりひとりの自己実現に向かって共に支援を行います。

2. 子ども一人ひとりの成長・発達を願い、子ども一人ひとりに相応しい環境設定を行います。

3. 子ども一人ひとりの命を大切に、子ども一人ひとりの家庭復帰を目指した地域支援を行います。

4. 子ども一人ひとりの思いに耳を傾け、子ども一人ひとりを主体者として支援を行います。

風ユニット

～あたたかな春、そして酷暑の夏、豊かな秋の活動報告～

春には野外でカレーを作り、夕焼けの空の下で食す。特別おいしく感じました。夏には岐阜ならではの！鵜飼観覧に。間近で伝統文化に触れました。中学生はタブレットを駆使して名古屋港水族館まで公共交通機関で行きました。暑かったですが、職員は乗り遅れちゃうのが心配でヒヤヒヤ感でした。秋はお芋ほりに参加し、ユニットが芋で溢れました。お芋ごはんとスイートポテトでおいしくいただきました！！寒い冬がやってきますが、活動的な冬になる予感。。



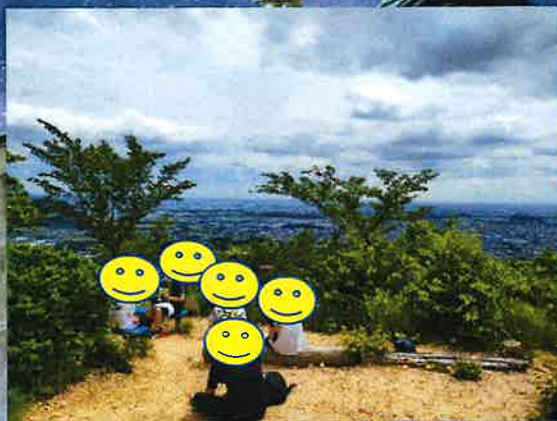
星ユニット



星ユニットは1人が退所をし、小学生が3人加わり子ども5名で生活をしています。小学生が増えたことで賑やかなユニットになりました。季節の変わり目や感染症など健康について子ども達も意識し、体力づくりや毎日の手洗いなど習慣づける取り組みをしました。元気いっぱい活動する子ども達を見て、職員もパワーを貰っています。星ユニット全員健康に2024年を迎えたいと思います！

光ユニット

今年も、8月は皆でキャンプへ行きました。BBQや肝試しなど夏のイベント盛りだくさんで、楽しい思い出になりました。11月には、中学生が大学祭で焼きそば屋台を出店しました。実は、7月からずっと練習を重ねて準備してきたイベントなんです。大学生に混じって奮闘し、250食を提供することができました。他にも、登山やプール行事など、アクティブな行事をたくさん体験しました。



空ユニット☀

8月には知多に行って船に乗ったり
BBQをしてたくさん食べて来ました！
10月には光ユニットの小学生と合同で
長良川鉄道サイコロ旅🎲

いろいろなところに行って
たくさんの思い出写真を撮りました！
リーダーや会計係、地図係に分担し
チームで協力してゴールを目指すことが
出来ました！



虹ユニット

こんにちは！

中高生ユニットは、生活力アップのために生活力アッププロジェクトという取り組みをしています。最近では自分で洗濯物を洗うようになりレベルアップしました。

毎日、自立に向けて頑張っております。

月行事では、外で BBQ や川遊びをしたりファミリーパークで無邪気に遊んだり…
普段できない経験をしてみんなでリフレッシュしました！



レク委員より

今年の夏は、今までにない新しい取り組みに挑戦！

それぞれのユニットでいろいろな出店をして、
子ども達が客も店番もする夏祭りを開催しました！

秋は芸術、運動、食欲の3つを楽しめるように
物作りをしたり、全力戦闘で元気いっぱい走り回ったり
焼き芋を焼いてみんなで食べたりしました♪

1 年も残り僅か…今はクリスマスに向けて計画中です！



桜学館分級のあゆみ

楽しんだ小中合同文化祭

令和5年11月15日(水)に、桜ヶ丘小中分級文化祭が開催されました。今年度のスローガンは『協平和楽』でした。文化祭へ対して「協力・平和・楽しむ」の願いを込めて、実行委員会のメンバーで作りました。小中合同発表では、『ふるさと』の合奏を行いました。小学生はトーンチャイムで、中学生はオカリナで演奏しました。小学生は、みんなでタイミングを合わせるためハミングを入れてリズムを取り、中学生は、難しい音の練習をして、1つの素敵な曲を奏で日々の努力を形にして発表することができました。

小学生の部



小学生は、音楽(リコーダー)や総合(平和学習)、体育(ダンス)で活動してきたことを発表しました。リコーダーでは、4年生『茶色の小びん』5年生

『威風堂々』6年生『ラバースコンチェルト』の曲目を、休み時間にもリコーダーの自主練習をし、綺麗な音色を奏でることができました。総合では、平和教育で学んだことについて、5・6年生はまとめて発表し、4年生は、自分の生活でできることを発表しました。相手が聞き取りやすいようにゆっくりはっきりと話すことを意識して発表しました。さらに、平和の尊さを伝えようと『ヒロシマの有る国で』『平和の鐘』の曲も歌いました。ダンスの『アイドル』『スターマイン』では、自分たちが踊るのを本気で楽しみつつ、動きを合わせ完成度の高い演技となりました。

一人一人が精一杯の力を発揮し、文化祭を大成功させることができました。

また、授業で取り組んできた図工作品や書写、社会科新聞等を展示し、お客さんに楽しんでいただきました。



ダンスの様子

中学生の部



中学生の発表では、バカっいいい動画とバンド演奏を行いました。

バカっいいい動画では、成功するまで何度も挑戦したり、編集を工夫したり、仲間と協力して取り組むことができました。撮影した動画が一部消えてしまうというハプニングがありましたが、誰かを責めることなく、みんなで協力して動画を作成し直す姿がみられました。バンドでは、難しく、くじけそうになる場面もありました。しかし、そこで諦めず、昼休みや放課後に自主的に練習し、一人一人が自分の楽器に責任をもち、文化祭まで練習を重ねてきました。

文化祭当日は、心を1つにし、会場全体を巻き込んで、素晴らしい演奏を披露することができました。分級太鼓では、今年度も先輩方の伝統を引き継ぐことができ嬉しく思います。太鼓の経験のある生徒が初めての生徒に教える姿がたくさん見られました。文化祭当日は、日々の練習の成果を自信に変え、迫力のある演奏をすることができました。

この文化祭で、一人一人が自分の役割に責任をもち、全員で文化祭を創り上げることができました。

今年度のスローガンを大切にし、文化祭を無事に終えられたことを嬉しく思います。

わおん大賞



わおん大賞の表彰式が行われました。今年度は、小学生『平和学習で学んだこと』中学生『楽しい未来に向かって ～今までの自分 これからの自分～』というテーマで作文を書きました。受賞者は、大勢の人の前で、堂々と受賞した作文を発表することができました。

このわおん大賞は、分級で学ぶ子たちに「書く力」を身に付けてほしいという願いのもと始まり、今回で第11回を迎えました。自分の考えや気持ちをありのままに表現することは、なかなか難しいと思います。だからこそ、自分の考えや気持ちを「話して伝える」「文章で書いて伝える」活動を通して、自分の気持ちを表現する力を身に付けてほしいと願っています。



発表している様子



子ども家庭支援センター「とも」より



夏が終わり、秋を感じる間もなく冷気が一段と深まり冬の訪れを感じる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。ともの職員も寒さに負けず、心を熱くしながら日々業務にあたっております。今年もともでは、来所相談や電話相談、家庭訪問等を通して、子どもたちやご家族の皆さまが安心して生活するための方法を共に考えながら支援しています。また、11月に里親トレーニングにて、ライフストーリーワークの研修を行いました。たくさんの方に参加していただきました。ありがとうございました。

今後も様々な悩みを抱えたご家族により一層寄り添った支援を行い、地域の子どもの健やかな成長のために私たちに出来る支援に尽力いたします。よろしくお願いいたします。（奥原 実咲）

寄付、ボランティアについて

桜学館は地域の方々をはじめ、たくさんの方に支えられています。ここに一部ではありますがご紹介させていただきます。

ミスタータイヤマン美濃加茂店様より花火、ギョーザの王将様よりギョーザ弁当、クオンテックス様よりお米を、岩田電機株式会社様より図書券を頂きました。

またボランティアとしてお花を活けて感想を述べあう「お花ボランティア」の方、子どもたちに芋ほりなどを体験させて下さった「農業体験」の方、子どもたちに勉強を教えたり、一緒に遊んで下さる「遊びボランティア」の方、知多半島にご招待して下さりバーベキューや釣り、クルージングを体験させて下さったボランティアの方など子どもたちに貴重な体験をさせて頂けたことをこの場を借りてお礼を申し上げます。



編集後記



新型コロナウイルスが5類に引き下がって以降も桜学館では時々コロナの集団感染が発生しました。また最近では、インフルエンザやA型溶連菌感染症が施設の児童間で流行しています。

今年も感染症が流行していることに変わりはないようです。子どもたち、職員も一丸となつてうがい、手洗いなどの感染対策に留意して過ごしています。

これからますます寒くなってきて、風邪等のウイルス性感染が多い時期となつてまいります。皆様もくれぐれもお身体にご留意の上、良い年をお迎え下さい。

広報紙「さくらさくら」へのご意見、ご感想を寄せください。

(E-Mail: sakura@hohoemi.or.jp) 広報委員 川治・清水